

市民活動団体

応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索

10月1日号への掲載の申込みは、8月23日(金)までに、広報広聴課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

広報みしま	締切日
11月1日号	9月27日(金)
12月1日号	10月25日(金)
令和2年1月1日号	11月15日(金)
2月1日号	12月20日(金)

子育て・教育

三嶋大祭りお子様に

「お祝いしゃぎり」演奏プレゼント

お子様が健やかに成長されることをお祝いし、目の前で「しゃぎり」を1曲演奏します☎8月15日(休)～17日(出)午後2時～3時☎みしまプラザホテル「チャペル」正面玄関☎1組1曲づつ演奏☎無料☎先着30組☎☎みしまプラザホテル ☎972・2121 ※詳細はみしまプラザホテルホームページ「イベントコンサート」

文化

寺画展「感謝」

～寺の絵を描きはじめて12年の今～
☎8月22日(休)～9月3日(休)☎場Via701ギャラリー(本町)☎三島のお店の象徴「のれん」を描いた事がきっかけで歴史・文化が残る“みしまのお寺”38寺、100点の絵を描く。本展への出展作品は65点。お寺様、皆様への「感謝」の寺画展です☎みしまのお寺めぐりの会 ☎090・8132・8394、Via701 ☎976・0038

うた倶楽部ヴォーチェ公開講座 みんなで楽しく歌いましょう

☎8月28日(休)午前10時～正午、午後2時～4時☎場音楽館 Probe(本町)☎うた声倶楽部の仲間と楽しく歌ってみませんか。ピアノ伴奏でいろいろな歌をうたいます☎無料☎不要※時間内におでかけください☎竹内 ☎994・9078

弦楽合奏による

ファミリーコンサートの開催

☎8月25日(日)午後3時～4時※入場自由☎場生涯学習センター3階講義室☎25人の弦楽合奏。曲目：月の砂漠、里の秋、真珠採り、ハイドン時計、エグモント序曲、スケーターズワルツほか☎無料☎どなたでも※幼児可☎150人☎熊谷 ☎960・8242

第1回六墨会墨画展(墨絵)

☎8月29日(休)～9月1日(日)午前10時～午後5時(1日は午後3時まで)☎場生涯学習センター3階市民ギャラリー☎墨の濃淡で凹凸、陰影色調を描いた会員の作品33点を展示☎無料☎六墨会・増島 ☎972・7583

三島グロリア合唱団

第37回定期演奏会

☎9月1日(日)開場午後1時15分、開演午後2時☎場市民文化会館大ホール☎メンデルスゾーンほかの宗教曲、小林秀雄合唱曲集「落葉松」、若林千春編曲「ヨーロッパの歌」、林光編曲「日本の歌」☎一般2,000円、学生1,000円※チケット販売：やまがた楽器店、文盛堂書店など☎土山 ☎972・2291

第33回 墨彩展(墨絵)

☎9月10日(休)～15日(日)午前10時～午後5時(10日は午後1時から、15日は午後4時まで)☎場コミュニティながいずみ2階(下土狩駅前)☎墨の濃淡と、ぼかしの技法で描かれた墨絵60点☎無料☎佐野美術館友の会墨絵部・小野 ☎971・6438

スポーツ・健康

秋季ソフトテニス教室

三島ソフトテニス協会

☎8月28日～11月13日(毎週水曜日)午後6時30分～8時30分☎場市民体育館文教コート☎小学生以上☎4,000円(10回)☎ソフトテニスラケット、シューズ☎8月28日(休)午後6時よりコート入口で受付☎大庭 ☎080・2615・6911

第68回三島市スポーツ祭バスケットボール大会(一般の部)参加者募集

☎9月15日(日)：男子の部予選、16日(月・祝)：男子の部準決・決勝、女子の部予選～決勝☎場市民体育館☎男子の部5,000円、女子の部3,000円※大会当日に徴収☎8月26日(日)までにチーム名(男子の部、女子の部の別)、代表者氏名、住所、電話番号を takahisa09@gmail.com ※申込みメール確認後、三島市バスケットボール協会から申込受付メールを送信します

れいほう山の会会員募集

☎場生活協同組合ユーコープ桜づつみ店2階☎月1回の例会・学習会。学習会では計画・装備・食糧・地図・気象・訓練方法を勉強します。その他の活動：アルパイン的登山(月1回)、ハイキング(月1回)の実施のほか清掃登山、自然観察会、安全登山講習会があります☎☎関後藤 ☎986・6075

その他

第37回核兵器をなくし平和をつくる三島市民のつどい

☎8月24日(出)午前10時～正午☎場生涯学習センター3階講義室☎▶平和へのメッセージ▶講演「本土に投げられた沖縄の決意」☎森住卓さん☎小学生以上500円(協力券)☎核兵器をなくし平和をつくる三島市民の会・加藤 ☎986・3180 ※同時開催「平和のための戦争展」8月21日(休)～25日(日)☎場生涯学習センター3階市民ギャラリー

ゆるーくハワイアンを楽しもう!

第3回フラ&ハワイアンタイム

☎8月25日(日)午後2時から(90分間)☎場Via701(本町)☎地元で活動するハワイアンバンドの生演奏とフラダンスのパフォーマンスを気軽に楽しめます。出演予定：ハワイアーナ・レアレア(ハワイアンバンド)、アイカーネ・ホク(フラ)、フラ・オ・ナニ・アロハ(フラ)☎無料☎場ハワイアーナ・レアレア：小松 ☎090・7853・9557、http://lealea.iinaa.net/lealea

歴史の小箱

No.375

地域の歴史〜千枚原せんまいばら〜

今回は千枚原地区にスポットをあて、縄文時代の遺跡にまつわるお話を紹介します。

千枚原は箱根西麓を源流とする大場川の支流である沢地川右岸の台地に位置しており、この台地上には、大字おおあざ町田の大字あざから名付けられた「千枚原遺跡」が所在します。沓町田の一部が昭和三十八年の宅地造成によって住宅団地として発展した際、この地区を知名度の高かった千枚原遺跡にちなんで「千枚原」と名付けました。

この千枚原遺跡は、約一万年以上続いた縄文時代のさまざまな時期に幾度も繰り返して生活が営まれた場所です。縄文時代の三島における中心的な集落の一つでもあります。発掘調査は昭和二十三年（一九四八）及び昭和三十八年（一九六三）に行われ、約四千年前の住居跡十七軒が発見されています。このう

ち特に特徴のある、床に石を敷いた「敷石住居」二軒の跡地を保護するため、遺跡の一部は市指定史跡公園として保存されています。

元となった「千枚原」という地名そのものの由来については定かではありません。「千枚」は非常に多くの値を表し、「原」は平らで広い所や耕作していかない野原を意味するので、未耕作の野原がたくさんあったことから名づけられたものではないか、といわれています。

さて、新興住宅地である千枚原団地は、造成当初、そこに住む人々の心のよりどころとなる「ふるさと」、つまりは地域で積み上げてきた思い出や文化はまだまだありませんでした。外に故郷をもつ大人と違い、この場所ですべていく子どもたちにはそれがありません。この子どもたちにいつまでも心の支えになる故郷を作ろう、それが大人の責務である―そんな気運が住民たちの間に芽生え、藤岡武雄氏（元日本大学教授）を中心にさまざまな活動が始まりました。

この活動の一環として、静岡県東部を代表する縄文時代の遺

跡である千枚原遺跡の石碑がふるさとのシンボルとして建立されました。昭和五十七年に史跡公園内に建立されたこの石碑は沢地の蜘蛛ヶ淵近くの川石を使い、文字は龍澤寺の鈴木宗忠老師に揮毫きぎょうしてもらい、祈禱は三嶋大社にお願いしたそうです。毎年七月末から八月初めの土曜日、先住の民の御霊を休め、住民の安寧を願う碑前祭が行われ、子どもたちはこの地域にまつわるお話を聞きます。それが終わると子ども神輿が町内を廻り、夕方には皆で千枚原音頭を踊る町内の夏祭りが始まります。



▲千枚原遺跡碑

わたしのおばあちゃん

当番 こばやし まみなさん

私は、祖母の事をばあばとよんでいます。ばあばは仕事も家事も一生懸命がんばっています。特に料理が上手で私と妹のリクエストに応えてくれます。なかでもパスタは絶品で色々なパスタを作ってくれます。私と妹は、チアダンスを習っています。チアの事を全力でサポートしてくれ、アドバイスもしてくれるので、沢山練習して、かつこいいダンスをみてほしいと思っています。だから、これからもずっと元気で明るいばあばでいてね、私の大切なおばあちゃん。



小林芳江(61才)
小林真妃奈(南小6年)